

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(8/18)

文・写真：武田、写真：倉谷、山國

日 時：2019(令和元)年 8 月 18 日(日) 9:30～14:00

気 象：天候=晴

活動エリア：「45 林班に-01(作業小屋周辺)」

活動内容：安全研修

見学受入れ：トレイルランナー一行 8 名(当会会員 2 名が案内・説明)

参加者：内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、後藤和子、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、福西勇之助、山 國

計 9 名

<年に一度の……>

「子曰 学而時習之 不亦説乎」(学んで時に之を習う また楽しからずや)で、災害事例を踏まえながら安全な伐木作業の基本を温習する。我流に堕していることも多く、改めて反省の一日。

<今日の成果>

先ず、木陰に車座になり災害事例(7/21 発生)の紹介、これは伐倒時、上部でもたれかかって立木が作業者の頭上に倒れ落ち、死亡事故に至ったと言うもの。事前チェックと協力者による監視は欠かせない。その上で、

(1)配布資料(*)により安全確保上 ①伐倒時の警笛励行、②作業者はイザと言う時の避け場所確保・周囲では樹高×2 の離隔距離の確保、③自然歩道付近では一名が交通監視、等々の対策を改めて徹底、

配布資料：「森林・山村多面的機能発揮対策の手引き」か「8.活動に当っての注意事項」を抜粋

：労基署ほか「伐木作業等の安全対策の規制が変わります」

(2)基本に従った伐木の実習：胸高直径や樹高の計測方法、伐木位置の選定、受口・追口の切り方、ロープ掛け、など

(3)ザック内の備品チェック

(4)席を移して「反省と懇談」の会(14:30～16:00)

・・学而編 続く一句は「有朋自遠方来 不亦楽乎」、山にはトレイルランナー一行にも来て貰えたし、料理を前に歓談の「ひととき」

尚、学而編は「人不知而不愠 不亦君子乎(人知らずして愠(うら)みず、亦君子ならずや)」と続く

←孔子様は諸兄姉への「戒め」も忘れない

<今日の出会い>

山田会員が嵐山からのトレイルランナーの一行 8 人を案内して、実習の様子を見学に来訪。こうした機会が会員のリクルートに繋がれば L u c k y !。バッタ君も顔を出す。郡上八幡からは長良川の鮎、井上会員には美味羨ましいこと。

(本文 終り)

＜集合写真—終了時＞



＜資料を手に斧田講師の説明と質疑＞



＜胸高直径の計測＞



＜水準器を使って鋸の角度をチェック＞



＜伐倒方向を確保するロープ掛け＞



＜追い口切り＞



<掛かり木の処理>



<備品のチェック>



<見学に来てくれたトレイルランナーの皆さん>



<反省会スタート>



<バッタ君>



<見るだけでも美味しそうな鮎>

